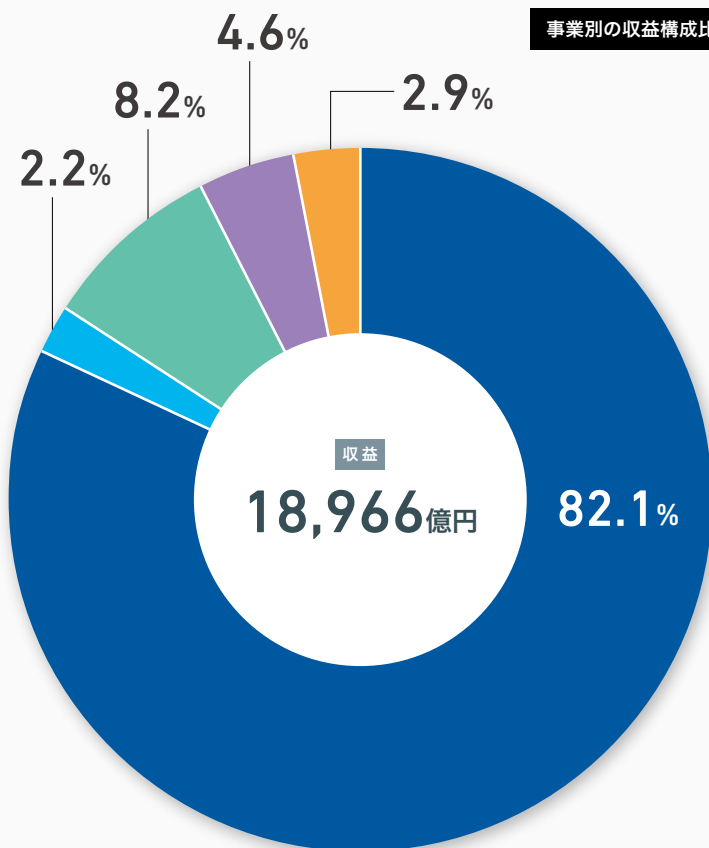


SBI GROUP AT A GLANCE

(2026年3月期)

事業別の収益構成比※1,2



金融サービス事業

収益 15,825億円 前期比 +34.8%

資産運用事業

収益 416億円 前期比 +23.1%

PE投資事業※3

収益 1,583億円 前期比 +12.4%

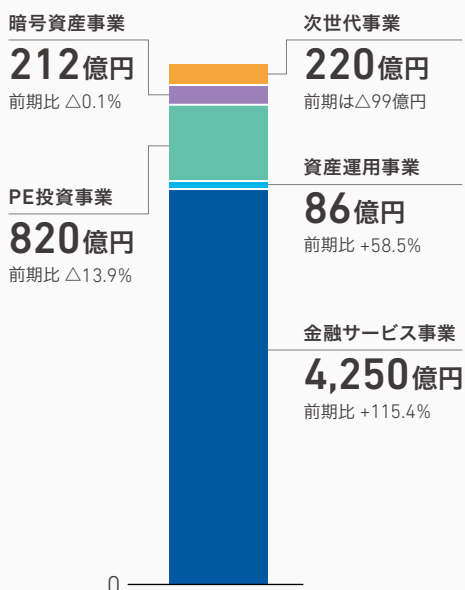
暗号資産事業

収益 896億円 前期比 +10.9%

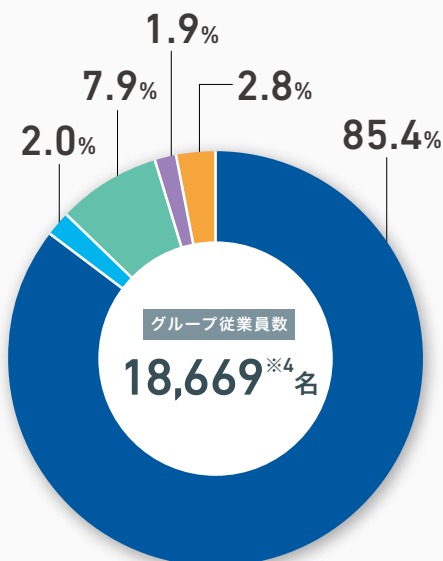
次世代事業

収益 562億円 前期比 +83.2%

税引前利益※2



事業別の従業員構成比※1



金融サービス事業 15,677名

資産運用事業 359名

PE投資事業 1,460名

暗号資産事業 344名

次世代事業 520名

※1 事業セグメント別の収益および従業員数構成比率は、各事業セグメントの収益および従業員数合計に対する構成比率を記載しています。

※2 事業セグメント別の数字には連結消去は含まれておりません。

※3 2025年4月より投資事業はPE投資事業へと名称を変更しています。

※4 全社共通人員など309名を含めています。

金融サービス事業

収益

15,825億円

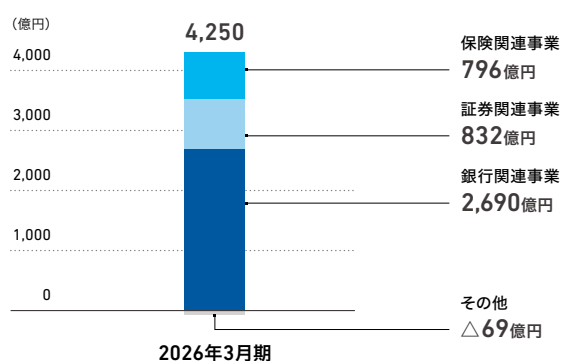
前期比 +34.8%

税引前利益

4,250億円

前期比 +115.4%

税引前利益の内訳



主要企業

銀行関連事業

SBI新生銀行
新生フィナンシャル
アプラス
昭和リース
SBI新生アセットファイナンス
SBI新生信託銀行
SBI Bank
SBI BANK (CAMBODIA)
Solaris
SBI貯蓄銀行
TPBank
SBIアルヒ
SBI地銀ホールディングス

SBI Royal Securities
SBI Thai Online Securities
BNI SEKURITAS

保険関連事業

SBIインシュアランスグループ
SBI損害保険
SBI生命保険
SBIいきいき少額短期保険
SBI日本少額短期保険
SBIリスタ少額短期保険
SBIプリズム少額短期保険
SBI常口セーフティ少額短期保険
SBIベット少額短期保険
Ly Hour SBI Insurance
教保生命保険

その他金融サービス関連事業

SBIリーシングサービス
SBIネオファイナンスサービス
SBI FinTech Solutions
SBIレミット
SBIビジネス・ソリューションズ
SBI Ripple Asia

証券関連事業

SBI証券
SBIリクイディティ・マーケット
SBI FXトレード
SBIマネープラザ
SBIネオトレード証券
FOLIOホールディングス
SBIベネフィット・システムズ
大阪デジタルエクスチェンジ
FPT Securities

2026年3月期の事業概況

銀行関連事業

- SBI新生銀行 (JGAAP) は、営業性資産残高の拡大に伴う貸出利鞘の増加や、住宅ローンや融資関連手数料の増加、法人税の減少等により、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を記録
- 住信SBIネット銀行株式の譲渡に伴う関連会社株式売却益1,416億円を計上
- 海外の銀行子会社では、市場環境や各国の情勢を踏まえた慎重な事業運営に注力し、安定した収益力を維持

証券関連事業

- SBI証券 (JGAAP) は、好調な市況に加え、従来より取り組んできた収益源の多様化が奏功し、営業収益と営業利益はいずれも過去最高を達成。不正アクセス等に係る特別損失を計上したものの、親会社株主に帰属する当期純利益も過去最高を記録
- SBIグループの証券口座数は順調に拡大し、2026年5月には国内初となる1,600万口座を突破
- SBIグループの証券事業における預り資産残高は、2026年4月末に70兆円を突破。2029年3月末までに100兆円を目指す

保険関連事業

- SBIインシュアランスグループ (JGAAP) は、前期に引き続きグループ全体の保有契約件数が堅調に増加したことにより、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも過去最高を更新
- 2026年3月期の好業績を踏まえ、1株当たりの年間配当金は前期比23.5円増配の46.5円
- 教保生命保険の株式取得および持分法適用関連会社化が2026年1月に完了 (取得後のSBIグループ議決権所有割合：20.4%)。本件に伴い、第4四半期に負ののれん発生益相当額約674億円を持分法による投資利益として計上

資産運用事業

収益

416億円

前期比 +23.1%

税引前利益

86億円

前期比 +58.5%

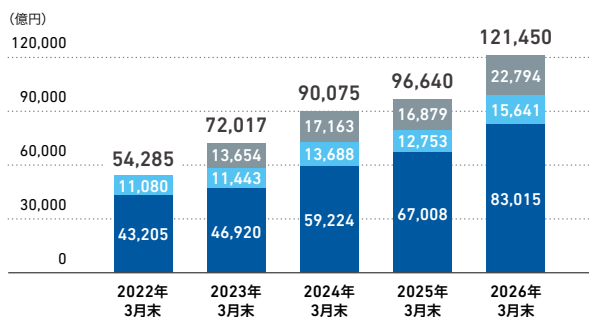
主要企業

SBIグローバルアセットマネジメント レオス・キャピタルワークス※
SBIアセットマネジメント Carret Asset Management
ウエルスアドバイザー
SBI岡三アセットマネジメント

※2026年12月1日付でSBIレオス・キャピタルワークスに商号変更予定

運用資産残高の推移

■ SBIアセットマネジメント、Carret Asset Management
■ レオス・キャピタルワークス※ ■ SBI岡三アセットマネジメント



2026年3月期の事業概況

- 好調な国内株式市場を背景に、各社において運用資産残高が順調に伸長し、前期比で増収増益を達成
- SBIグローバルアセットマネジメントグループの運用資産残高は2026年3月末時点で12兆円を突破。2026年度中に20兆円、2029年度までに50兆円達成を目指す
- SBIグローバルアセットマネジメントグループ(JGAAP)の売上高は14期連続の増収、経常利益は17期連続の増益を達成

PE投資事業

収益

1,583億円

前期比 +12.4%

税引前利益

820億円

前期比 △13.9%

主要企業

SBIキャピタルマネジメント SBI Hong Kong Holdings
SBIインベストメント SBI VENTURES ASSET
SBI新生企業投資 SBI Ven Capital
SBI地域事業承継投資 SBI Investment KOREA
SBIデジタルストラテジック 思佰益(中国)投資有限公司
インベストメント

公正価値評価の変動による 損益および売却損益

(億円)

	2025年3月期	2026年3月期
税引前利益	953	820
公正価値評価の変動による損益および売却損益	1,009	910

2026年3月期の事業概況

- FVTPLで測定する金融資産から生じる収益の変動等により、PE投資事業セグメントは増収減益

※2025年3月期まで金融サービス事業に含めていた一部の有価証券について、2026年3月期よりPE投資事業に含めています。これに伴い、2025年3月期の金融サービス事業およびPE投資事業セグメントの数値も組み替えを行っています。

暗号資産事業

収益

896億円

前期比 +10.9%

税引前利益

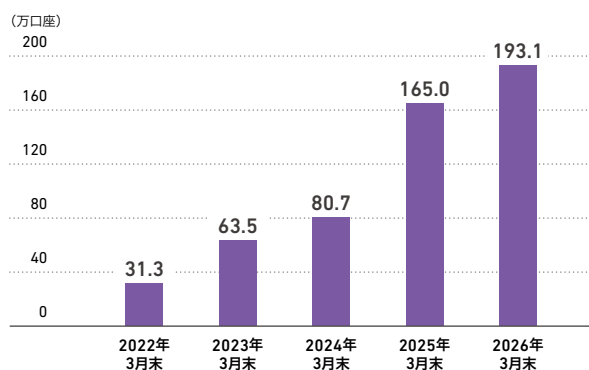
212億円

前期比 △0.1%

主要企業

SBI VCTトレード
B2C2

SBI VCTトレードの口座数



※VCTRADE、BITPOINT両サービスの合算

2026年3月期の事業概況

- 第3四半期に計上した評価益の影響もあり、収益は過去最高を記録し、2025年10月以降の市場低迷の中でも、税引前利益は過去最高を記録した前期に引き続き高水準を維持
- SBI VCTトレードは法人向けビジネスを強化し、「期末時価評価課税の適用除外サービス」において届け出数ベースで約7割の業界シェアを有する
- 2026年4月には、SBI VCTトレードを存続会社としてビットポイントジャパンを吸収合併し、事業体制の効率化を実施

次世代事業

収益

562億円

前期比 +83.2%

税引前利益

220億円

前期は△99億円

主要企業

SBIファーマ	まちのわホールディングス
SBIアラプロモ	マイナビ
SBIバイオテック	SBIネオメディア
SBI R3 Japan*	ホールディングス
SBIウェルネスバンク	Ridge-i
SBIスマートエナジー	Startale Group
SBITレーサビリティ	

※SBI Solana Globalに商号変更予定

SBIアラプロモが「機能性表示食品制度」に基づき届出を

行い消費者庁に受理された機能性表示商品 () : 発売開始時期

- アラプラス 糖ダウン (2015年12月)
- SBI (エスビーアイ) イチヨウ葉 (2017年12月)
- アラプラス 糖ダウン リッチ (2018年11月)
- アラプラス 深い眠り (2019年3月)
- アラプラス からだアクティブ (2019年10月)
- 発芽玄米の底力 (2021年4月)
- アラプラス メンタルケア (2021年7月)
- アラプラス 糖ダウン アラシア (2021年12月)
- アラプラス ゴールド 疲労感軽減 (2022年5月)
- アラプラス 糖ダウンドリンク (2022年9月)
- アラプラス 糖脂ダウン (2023年7月)
- アラプラス 糖ダウン ソフトキャンディー (2024年3月)
- アラプラス こころケア ソフトキャンディー (2024年3月)

※2026年6月末時点

2026年3月期の事業概況

- Web3関連事業において、バリデータ報酬として獲得し、保有している暗号資産で評価益が発生し、次世代事業セグメントは黒字に転換
- 2024年11月に持分法適用関連会社化したマイナビが、持分法による投資利益として52億円の業績貢献